

長 崎 県 観 光 統 計

平成 2 7 年 (1 月 ~ 1 2 月)



長崎県 観光振興課

この統計表の見方

用語の解説とそれらの相関関係

(A) 観光客延数・・・観光の活動量を日単位で表すもので、当該地を訪れた観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<算式で表すと>

$$\text{観光客延数} = \text{宿泊客延滞在数} + \text{日帰り客数}$$

(B) 宿泊客延滞在数・・・次の2つの要素を合計したもので、当該地に来訪した宿泊をともなう観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<要素>

(1) 宿泊客実数・・・何泊したかを問わず当該地に宿泊した観光客の合計

(2) 延べ宿泊者数・・・当該地の宿泊観光客の延宿泊数の合計

<算式で表すと>

$$(3) \text{ 宿泊客延滞在数} = \text{宿泊客実数} + \text{延宿泊者数}$$

平均宿泊数・・・当該地の宿泊観光客が平均何泊するかを表すもので、必ず1(泊)以上として表される。

<算式で表すと>

$$\text{平均宿泊数} = \text{延宿泊数} \div \text{宿泊客実数}$$

(C) 観光客実数 = 日帰り客数 + 宿泊客実数
= 地元客 + 県内客 + 県外客

【具体例】

1人が2泊3日した場合

(1) 宿泊客実数・・・1人

(2) 延宿泊数・・・2泊

(3) 宿泊客延滞在数・・・3人

調査概要

作成にあたっては、宿泊施設における聞き取りや県内各ブロックの主要観光施設の入
り込み状況、航路・空路の乗降客数等を考慮し、平成27年12月31日現在の観光客
数について、各市町が推計したものを県において集計したものである。

地域ブロック区分

この統計表における地域ブロック区分は以下のとおりである。

長崎・西彼：長崎市、長与町、時津町

佐世保・西海・東彼・北松

：佐世保市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町

平戸・松浦：平戸市、松浦市

諫早・大村：諫早市、大村市

島原半島：島原市、雲仙市、南島原市

五島：五島市、新上五島町、小値賀町

壱岐：壱岐市

対馬：対馬市

再算定について

本年は、諫早市、新上五島町において算定方法の見直しが行われ、島原市において前年
公表数値の訂正等が生じたため、平成26年の公表数値について再算定を行っている。

平成27年長崎県観光統計

長崎県の観光客延べ数（平成27年1～12月）

33,284,150人（対前年比+2.7%）

平成26年の32,412,482人^{（注）}と比べ、871,668人の増加

- ・観光客延べ数は、統計をとりはじめた昭和47年以降最多であった平成26年を上回り、2年連続で過去最高を更新。
- ・延べ宿泊者数は、平成19年以来8年ぶりに700万人台へ回復するとともに4年連続の増加。

概況

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されたこと、世界遺産候補の「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」への注目が高まったこと、ハウステンボスの光の王国や世界新三大夜景である長崎市の夜景などの夜型観光が引き続き好調を維持していること、国の地方創生交付金を活用した「ふるさと割」の実施により宿泊客が増加したこと、訪日旅行需要が拡大する中、外国人宿泊客数・クルーズ客船入港隻数が過去最高を記録したことなどから、前年の長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会開催による反動減が一部見受けられたものの、平成27年の観光客延べ数は3,328万人（対前年比+2.7%）となり、これまで最多であった平成26年を上回り、2年連続で過去最高を更新した。

日帰り客数は2,085万人（対前年比+0.6%）、宿泊客延べ滞在数は1,244万人（対前年比+6.3%）であり、宿泊客数の増加が観光客延べ数の増加に大きく寄与している。

観光客数比較

（単位：人、%）

	H26	H27	対前年増減数	対前年比
観光客延べ数	32,412,482	33,284,150	871,668	2.7
日帰り客数	20,713,237	20,847,798	134,561	0.6
宿泊客延滞在数	11,699,245	12,436,352	737,107	6.3

（注）島原市において平成26年の算定に誤りがあったこと、諫早市において平成27年から観光客数の算定方法が一部変更されていることから、平成26年の数値は、再算定数値を用いている。

1. 長崎県の観光動向

(1) 四半期毎の観光動向 (長崎県観光動向調査：宿泊客数の前年比)

【1～3月】(+3.3%)

ハウステンボスの「光の王国」の集客が引き続き好調であること、長崎市におけるランタンフェスティバルの開催や夜景などの夜型観光が好調を維持していること、韓国人などの外国人観光客が増加していることなどから、増加した。

【4～6月】(+8.2%)

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」がユネスコ世界遺産委員会の諮問機関である ICOMOS (イコモス) による勧告を受けたことに伴い、世界文化遺産登録に向けて注目を浴びたこと、ハウステンボス及びその周辺での宿泊が好調であること、夜景などの夜型観光が好調を維持していること、アジアを中心とした外国人観光客が増加していることなどから、増加した。

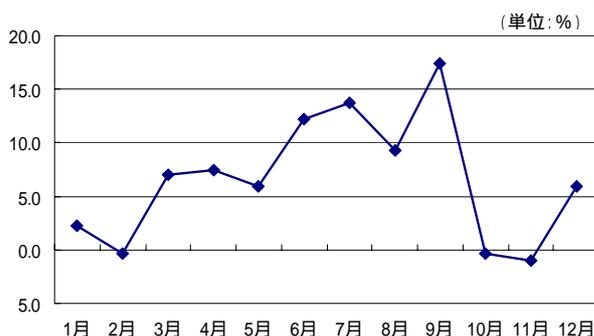
【7～9月】(+13.0%)

7月に明治日本の産業革命遺産が世界文化遺産として登録され全国的に注目を浴びたこと、昨年よりもシルバーウィークの日並びが良かったこと、離島地区では「ふるさと割」と「しまとく通貨」の効果が相まって現れたこと、アジアを中心とした外国人観光客が引き続き増加していることなどから、今年はじめて全てのブロックで増加となり、増加した。

【10～12月】(+1.3%)

10月、11月の「長崎かんばらんば国体」、「長崎かんばらんば大会」開催に伴う反動減が多くブロックでみられたものの、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産への登録決定により注目が高まったこと、世界遺産候補である「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」への集客が奏功していること、アジアを中心とした外国人観光客が引き続き増加していることなどから、10～12月期全体で対前年同期比+1.3%となった。

月別宿泊客数対前年増減率の推移 (%)



月別外国人宿泊客数対前年増減率の推移 (%)



(2) 日帰り、宿泊別観光客の動向

日帰り客数は、前年の長崎がんばらんば国体・大会開催による反動減が一部見受けられたものの、世界文化遺産の登録決定やハウステンボスの集客増、クルーズ客船の大幅増などから、対前年比+0.6%(+134千人)と2年連続で過去最高を更新した。

宿泊客延べ滞在数は、国の地方創生交付金を活用した「ふるさと割」が好調だったこと、長崎市の夜景やハウステンボスの「光の王国」などの夜型観光が引き続き好調だったことに加え、外国人宿泊客が大幅に増加していることなどから、対前年比+6.3%(+737千人)となった。

日帰り・宿泊別観光客数 (単位：人、%)

	H26	H27	対前年増減	対前年比
日 帰 り 客 数	20,713,237	20,847,798	134,561	0.6
宿 泊 客 延 滞 在 数	11,699,245	12,436,352	737,107	6.3
延 宿 泊 者 数	6,687,463	7,047,020	359,557	5.4

(3) 観光客数の推移

平成20年はリーマンショックに端を発する世界的な経済情勢の悪化に加え、円高や新型インフルエンザにより外国人観光客が減少したものの、平成21年は高速道路の料金割引効果がみられたことにより、また、平成22年は大河ドラマ「龍馬伝」の放送や、ハウステンボスのリニューアルが追い風となったことにより、観光客の増加傾向に転じた。

平成23年は東日本大震災の影響によりいったん減少に転じたが、平成24年は震災の影響からの回復に加え、「光と灯り」をテーマにした誘客が奏功したことや、全国和牛能力共進会長崎県大会の開催などにより再び増加に転じた。

平成25年はハウステンボス入場者数の大幅増加や、世界新三大夜景認定以降、夜型観光が好調であったこと、長崎しおかぜ総文祭や国体のリハーサル大会が開催されたこと、更に外国人観光客が大幅に増加したことなどから、県内全てのブロックで増加がみられた。

平成26年は長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会の競技が県内各地で開催されたことや、世界文化遺産候補となった観光施設への誘客が堅調であったことから観光客の増加がみられた。

平成27年は「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されるなど、世界遺産候補も含めた注目度の高まりを初めとして、長崎市、ハウステンボスが引き続き好調を維持するとともに、ふるさと割の効果などで宿泊客が大幅な増加を見せたことにより、観光客延べ数は対前年比2.7%増と4年連続の増加となった。

観光客延べ数の伸び率推移 (単位：%)

年	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
前年比	0.0	1.7	1.4	0.9	2.7	3.7	4.3	5.5	4.8	2.7

(4) 地域ブロック別の動向

長崎・西彼ブロック(690万人、対前年比+6.0% +390千人)

長崎市：「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産への登録決定に伴う各種メディアでの露出増により、旧グラバー住宅(グラバー園)が前年比+14.8%、端島(軍艦島)上陸者数が前年比+44.9%と大幅に伸びている。また、市内の夜景が世界新三大夜景に認定されて以降、夜型観光が好調を維持していることや、長崎港へのクルーズ客船の入港が前年比74.7%増の131隻となり、大幅な増加となったことなどから、日帰り客は対前年比+7.0%、宿泊客延滞在数は対前年比+5.0%となり、観光客延べ数は過去最高であった昨年を対前年比+6.1%(+387千人)と更に上回った。

佐世保・西海・東彼・北松ブロック(1,049万人、対前年比+3.0%、+302千人)

佐世保市：ハウステンボスが新イベントなどの展開や世界初のロボットによるホテルの開業などにより集客効果が継続したこと、九十九島パールシーリゾートでは新しい九十九島遊覧船が新規就航したこと、佐世保港国際ターミナルが供用開始となりクルーズ客船の寄港が急増したこと等の一方で、前年の「九十九島動植物園森きらら」のリニューアル効果や長崎がんばらんば国体・大会開催の反動減があったことなどから、日帰り客数は対前年比1.1%と微減、宿泊客延滞在数は対前年比+5.5%となり、観光客延べ数は対前年比+1.9%(+149千人)と過去最高を記録した。

西海市：長崎バイオパークや七ツ釜鍾乳洞などの主要施設の利用者数が増加していること、西海大鍋まつりなどのイベントによる集客が好調だったことなどから、日帰り客数が対前年比+8.5%、宿泊客延滞在数も対前年比+3.7%と堅調な伸びを見せた結果、観光客延べ数は対前年比+8.0%(+69千人)となった。

波佐見町：雑誌やテレビなどのメディア露出が増え、観光施設や体験施設、各種イベント等も軒並み増加していること、宿泊施設が新たにオープンしたことに伴い宿泊客数が急増したことなどから、観光客延べ数は、対前年比+10.3%(+87千人)となった。

平戸・松浦ブロック(273万人、対前年比+2.5% +66千人)

平戸市：体験メニューと宿泊を組み合わせた夏の旅行商品企画が奏功し、個人客が増加するとともに宿泊増に繋がったこと、西九州自動車の一部開通に伴い、福岡や佐賀からの来訪者数が増加していることに加え、外国人観光客が増加したことから、観光客延数は対前年比+0.6%(+13千人)となった。

松浦市：西九州自動車道の一部開通に伴い、主要観光施設である「道の駅松浦 海のふるさと館」の利用者数の増加につながったことや、鷹島モンゴル村のリニューアル効果などから、観光客延べ数は対前年比+8.2%(+53千人)となった。

諫早・大村ブロック(389万人、対前年比 1.4% 54千人)

諫早市：長崎がんばらんば国体・大会の式典会場だったことの反動から、日帰り客は対前年比 5.3%であったものの、外国人宿泊客の増加などにより宿泊客延滞在数が大幅増となったことから、観光客延数は横ばいとなった。

大村市：外国人宿泊客の増加などにより宿泊客は増加したものの、長崎がんばらんば国体・大会開催の反動減などにより、日帰り客数は対前年比 6.5%と減少し、観光客延べ数は対前年比 4.6%(54千人)となった。

島原半島ブロック(689万人、対前年比+0.2% +12千人)

島原市：4月にオープンした鯉の泳ぐ街観光交流センター「清流亭」が新たな拠点となり、「四明荘」や「島原城」などの主要施設の利用者が増加したことや島原市独自で実施した「ふるさと旅行券」が宿泊客増に寄与したことで、日帰り客数、宿泊客延滞在数、観光客延数のいずれも対前年比+5.2%となった。

雲仙市：「ふるさと割」の効果や積極的なプロモーションに伴う外国人宿泊客の増加などにより宿泊客延滞在数は対前年比+4.7%となったが、長崎がんばらんば国体・大会開催の反動減などにより、日帰り客数は対前年比 3.6%だったため、観光客延べ数は対前年比 0.9%(34千人)となった。

南島原市：世界遺産候補の「原城跡」と「日野江城跡」、ガイドンス施設である「有馬キリシタン記念館」は増加傾向であるものの、天候不順などにより大型イベントの集客が悪かったこと、大型宿泊施設のリニューアルに伴う閉館期間の集客減などにより、日帰り、宿泊ともに減少し、観光客延べ数は対前年比 1.9%(32千人)となった。

五島ブロック(73万人、対前年比+6.9% +47千人)

五島市：「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」への注目度の高まりを受けて、構成資産である「旧五輪教会堂」「江上天主堂」に加え、堂崎天主堂でも来訪者数が大幅に増加していることなどにより、日帰り、宿泊ともに増加し、観光客延べ数は対前年比+3.2%(+13千人)となった。

新上五島町：世界遺産候補の「頭ヶ島天主堂」に加え、青砂ヶ浦天主堂も来訪者数が大幅に増加していることに加え、韓国からの巡礼ツアー客も順調な伸びを見せたこと等により、観光客延べ数は対前年比 + 13.0% (+ 31千人) となった。

壱岐ブロック (56万人、対前年比 + 4.8% + 26千人)

壱岐市：多客期である夏に台風等の天候の影響も少なく、海水浴客や辰ノ島渡船・遊覧クルーズも利用客が増加したことや、しまとく通貨とのタイアップによる旅行商品の販売も好調だったことから、日帰り客、宿泊客とも増加し、観光客延数は、対前年比 + 4.8% (+ 26千人) となった。

対馬ブロック (109万人、対前年比 + 8.2% + 83千人)

対馬市：平成26年に引き続き韓国人観光客数が日帰り客、宿泊客ともに増加し、過去最高となったことなどから、観光客延べ数は対前年比 + 8.2% (+ 83千人) となった。

地域ブロック別観光客数

単位：人、泊、%

	観 光 客 延 数						H26	H27-H26比較	
	日帰り客数	宿泊客延滞在数	延宿泊者数	宿泊客実数	平均宿泊数	観光客延数	観光客延数	増減数	前年比
県 計	20,847,798	12,436,352	7,047,020	5,389,332	1.31	33,284,150	32,412,482	871,668	2.7
長崎・西彼	3,928,508	2,969,592	1,711,041	1,258,551	1.36	6,898,100	6,508,415	389,685	6.0
佐世保・西海 東彼・北松	6,421,909	4,070,567	2,186,787	1,883,780	1.16	10,492,476	10,190,537	301,939	3.0
平戸・松浦	1,981,799	745,853	451,651	294,202	1.54	2,727,652	2,662,102	65,550	2.5
諫早・大村	2,935,562	952,829	528,648	424,181	1.25	3,888,391	3,942,435	54,044	1.4
島原半島	4,953,016	1,937,723	1,036,035	901,688	1.15	6,890,739	6,878,513	12,226	0.2
五 島	229,886	502,727	303,336	199,391	1.52	732,613	685,217	47,396	6.9
壱 岐	83,647	477,664	320,019	157,645	2.03	561,311	535,602	25,709	4.8
対 馬	313,471	779,397	509,503	269,894	1.89	1,092,868	1,009,661	83,207	8.2

(5) 外国人観光客(宿泊客)の動向

国では訪日外客数が過去最高と訪日旅行需要が拡大するなる中、本県においても、国・地域などのターゲット毎に積極的な誘致セールス活動やプロモーションを実施した結果、円安傾向やビザの緩和、消費税免税制度の拡充や造船関連のビジネス需要等の影響も後押しとなり、延べ宿泊者数、宿泊客延滞在数ともに、これまでの最高であった平成19年を上回り、延べ宿泊者数が対前年比+43.5%(+226千人)の745千人、宿泊客延滞在数が対前年比+41.7%(+380千人)の1,293千人といずれも過去最高を記録した。

国・地域別で多い順に見ると、韓国、台湾、中国、アメリカの順となっており、平成6年の調査開始以来、初めて中国がアメリカを上回り3番目となった。

また、クルーズ船の入港隻数は、県全体で180隻と過去最高であった平成26年の約2倍となり、乗員乗客数も50万人を超え、過去最高を更新した。

(単位：人、%)

地域	H26		H27		H27-H26比較			
	延宿泊者数	宿泊客延滞在数	延宿泊者数	宿泊客延滞在数	対前年比(%)		増減(人)	
国・地域	延宿泊者数	宿泊客延滞在数	延宿泊者数	宿泊客延滞在数	延宿泊者数	宿泊客延滞在数	延宿泊者数	宿泊客延滞在数
アジア	418,840	758,404	561,900	1,011,021	34.2	33.3	143,060	252,617
中国	26,106	43,692	59,663	100,581	128.5	130.2	33,557	56,889
台湾	130,728	238,571	162,221	295,256	24.1	23.8	31,493	56,685
香港	24,219	45,062	31,859	59,260	31.5	31.5	7,640	14,198
韓国	207,561	380,094	263,330	479,892	26.9	26.3	55,769	99,798
シンガポール	10,101	16,657	11,769	19,737	16.5	18.5	1,668	3,080
タイ	12,267	21,273	16,783	29,183	36.8	37.2	4,516	7,910
その他	7,858	13,055	16,275	27,112	107.1	107.7	8,417	14,057
ヨーロッパ	20,913	33,595	94,665	150,694	352.7	348.6	73,752	117,099
イギリス	3,900	6,298	5,267	8,597	35.1	36.5	1,367	2,299
フランス	2,457	3,989	3,554	5,825	44.6	46.0	1,097	1,836
その他	14,556	23,308	85,844	136,272	489.7	484.7	71,288	112,964
北アメリカ	42,931	60,469	46,528	67,429	8.4	11.5	3,597	6,960
アメリカ	40,843	57,060	43,165	61,965	5.7	8.6	2,322	4,905
カナダ	1,737	2,838	2,656	4,329	52.9	52.5	919	1,491
その他	351	571	707	1,135	101.4	98.8	356	564
南アメリカ	1,389	2,231	1,565	2,536	12.7	13.7	176	305
オセアニア	6,063	9,786	6,106	9,879	0.7	1.0	43	93
オーストラリア	4,737	7,645	5,003	8,083	5.6	5.7	266	438
その他	1,326	2,141	1,103	1,796	16.8	16.1	223	345
その他の国・地域	725	1,204	892	1,462	23.0	21.4	167	258
国籍不明	27,940	46,936	33,022	50,070	18.2	6.7	5,082	3,134
合計	518,801	912,625	744,678	1,293,091	43.5	41.7	225,877	380,466

参考 クルーズ客船入港実績推移

単位：(隻、人)

	H23	H24	H25	H26	H27
入港隻数	39	78	48	92	180
外航	20	73	39	82	164
内航	19	5	9	10	16
乗員乗客数	33,645	82,729	56,666	153,109	500,866
外航	26,171	80,797	52,897	149,232	490,375
内航	7,474	1,932	3,769	3,877	10,491

(6) 修学旅行宿泊者数の動向

平成27年の修学旅行宿泊者数は、平成26年が本県修学旅行のピーク期である10～11月に長崎がんばらんば国体・大会開催による影響で減少したものの、数年前から実施していた再び長崎へ方面変更していただくための学校及び旅行会社等への訪問活動等が奏功し、対前年比+4.7%(+20千人)の452千人と2年ぶりに増加に転じ、過去10年間では2番目に高い水準まで回復した。

(単位:人、%)

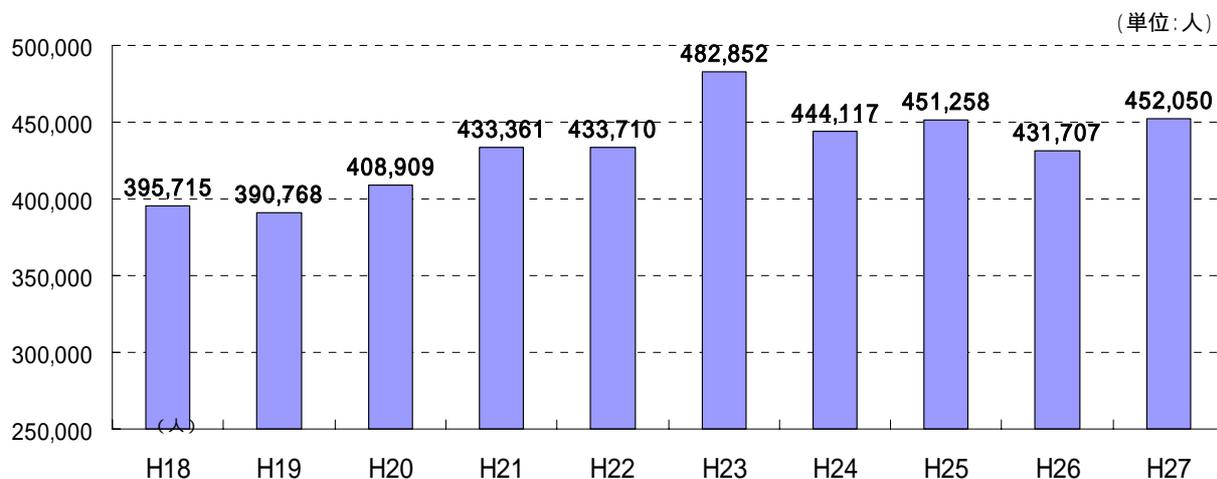
市 町	平成25年	平成26年	平成27年	増減数	前年比	構成比
県 計	451,258	431,707	452,050	20,343	4.7	100.0
長 崎 市	303,500	285,200	297,300	12,100	4.2	66.1
佐 世 保 市	59,743	59,084	62,703	3,619	6.1	13.7
島 原 市	6,315	5,084	7,045	1,961	38.6	1.2
雲 仙 市	27,848	25,975	27,280	1,305	5.0	6.0
南 島 原 市	5,991	9,947	10,679	732	7.4	2.3
諫 早 市	3,827	3,628	3,037	591	16.3	0.8
大 村 市	619	617	1,598	981	159.0	0.1
平 戸 市	13,750	12,158	12,875	717	5.9	2.8
松 浦 市	18,068	18,732	16,773	1,959	10.5	4.3
五 島 市	1,969	974	1,936	962	98.8	0.2
新 上 五 島 町	316	0	0	0	-	0.0
壱 岐 市	5,127	5,953	5,588	365	6.1	1.4
対 馬 市	0	296	180	116	39.2	0.1
川 棚 町	3,142	2,447	2,730	283	11.6	0.6
小 値 賀 町	1,043	1,612	2,326	714	44.3	0.4

注1) 市町調査(聞き取り)による数値

長崎市については、市発表の団体客(学生客)の数であるため、日帰り客を含む

注2) 実績がある市町のみ掲載している。

修学旅行宿泊者数の推移(H18～27)



2. 長崎県の観光消費額の動向

平成27年の観光消費額

観光消費額 3,817億円（対前年比+12.3%）

平成27年1月から12月まで

1人1日当たりの平均消費額

【日帰り客】 8,228円（対前年比+11.3%）

【宿泊客】 23,888円（対前年比+4.6%）

平成27年の観光消費額は、観光客延べ数が過去最高を更新したことなどにより、3,817億円（対前年比+12.3%）と、前年に続き2年連続で過去最高を更新した。

日帰り客、宿泊客別に観光消費額をみると、日帰り客は1,715億円（対前年+12.0%）、宿泊客は2,101億円（対前年比+12.6%）であり、日帰り客、宿泊客ともに観光消費額に大幅な増加がみられた。

日帰り客、宿泊客別に平均単価をみると、日帰り客は8,228円（対前年比+11.3%）、宿泊客は23,888円（対前年比+4.6%）であった。

（単位：百万円、%）

	H26	H27	増減	対前年比
観光消費額	339,773	381,685	41,912	12.3
日帰り客	153,105	171,543	18,438	12.0
宿泊客	186,668	210,142	23,474	12.6
平均単価（円）＜一人一日あたりの平均消費額＞				
日帰り客	7,392	8,228	836	11.3
宿泊客	22,841	23,888	1,047	4.6

（注）諫早市、新上五島町において算定方法の見直しが行われ、島原市において平成26年の観光客数が訂正されていることなどから、平成26年の数値は再算定した数値を用いている。

観光消費額の伸び率推移

（単位：%）

年	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
対前年比	2.2	2.3	1.5	6.9	2.6	1.3	6.6	13.1	4.4	12.3

(参考)平成27年市町別観光客数

(単位:人、%)

区分 市町	観光客延数										観光客実数					
	日帰り客数	宿泊客延滞在数	延宿泊者数	宿泊客実数	平均宿泊数	観光客延数	26年延数	前年比	増減	地元客	県内客	県外客	観光客実数	26年実数	前年比	
県計	20,847,798	12,436,352	7,047,020	5,389,332	1.31	33,284,150	32,412,482	2.7	871,668	4,616,478	6,698,274	14,922,378	26,237,130	25,725,019	2.0	
長崎・西彼	3,928,508	2,969,592	1,711,041	1,258,551	1.36	6,898,100	6,508,415	6.0	389,685	374,478	386,482	4,426,099	5,187,059	4,855,636	6.8	
佐世保・西海・東彼・北松	6,421,909	4,070,567	2,186,787	1,883,780	1.16	10,492,476	10,190,537	3.0	301,939	1,950,449	1,623,519	4,731,721	8,305,689	8,144,045	2.0	
平戸・松浦	1,981,799	745,853	451,651	294,202	1.54	2,727,652	2,662,102	2.5	65,550	170,970	812,222	1,292,809	2,276,001	2,226,056	2.2	
諫早・大村	2,935,562	952,829	528,648	424,181	1.25	3,888,391	3,942,435	1.4	54,044	1,332,694	1,599,588	427,461	3,359,743	3,479,712	3.4	
島原半島	4,953,016	1,937,723	1,036,035	901,688	1.15	6,890,739	6,878,513	0.2	12,226	637,251	2,084,576	3,132,877	5,854,704	5,850,413	0.1	
五島	229,886	502,727	303,336	199,391	1.52	732,613	685,217	6.9	47,396	77,730	129,324	222,223	429,277	403,732	6.3	
壱岐	83,647	477,664	320,019	157,645	2.03	561,311	535,602	4.8	25,709	27,089	13,704	200,499	241,292	237,273	1.7	
対馬	313,471	779,397	509,503	269,894	1.89	1,092,866	1,009,661	8.2	83,207	45,817	48,859	488,689	583,365	528,152	10.5	
長崎市	3,814,000	2,879,800	1,654,353	1,225,447	1.35	6,693,800	6,306,800	6.1	387,000	307,482	342,678	4,389,287	5,039,447	4,698,200	7.3	
長与町	46,511	0	0	0	-	46,511	67,856	31.5	21,345	18,041	12,559	15,911	46,511	67,856	31.5	
時津町	67,997	89,792	56,688	33,104	1.71	157,789	133,759	18.0	24,030	48,955	31,245	20,901	101,101	89,580	12.9	
佐世保市	4,168,918	3,718,578	1,967,978	1,750,600	1.12	7,887,496	7,738,531	1.9	148,965	1,571,013	697,841	3,650,664	5,919,518	5,873,149	0.8	
西海市	835,309	93,572	55,924	37,648	1.49	928,881	859,882	8.0	68,999	86,879	317,394	468,684	872,957	805,369	8.4	
東彼杵町	48,860	3,498	1,749	1,749	1.00	52,358	51,911	0.9	447	4,049	36,945	9,615	50,609	49,872	1.5	
川棚町	329,187	197,583	132,466	65,115	2.03	526,770	505,958	4.1	20,812	42,983	227,535	123,784	394,302	383,755	2.7	
波佐見町	879,127	57,336	28,668	28,668	1.00	936,463	849,248	10.3	87,215	165,270	271,576	470,949	907,795	846,893	7.2	
佐々町	160,508	0	0	0	-	160,508	185,007	13.2	24,499	80,255	72,228	8,025	160,508	185,007	13.2	
平戸市	1,409,017	620,486	372,292	248,194	1.50	2,029,503	2,016,764	0.6	12,739	66,320	681,586	909,305	1,657,211	1,644,692	0.8	
松浦市	572,782	125,367	79,359	46,008	1.72	698,149	645,338	8.2	52,811	104,650	130,636	383,504	618,790	581,364	6.4	
諫早市	2,016,039	732,899	412,590	320,309	1.29	2,748,938	2,748,634	0.0	304	757,677	1,324,475	254,196	2,336,348	2,397,183	2.5	
大村市	919,523	219,930	116,058	103,872	1.12	1,139,453	1,193,801	4.6	54,348	575,017	275,113	173,265	1,023,395	1,082,529	5.5	
島原市	1,267,264	327,311	208,861	118,450	1.76	1,594,575	1,515,666	5.2	78,909	55,418	205,773	1,124,523	1,385,714	1,317,128	5.2	
雲仙市	2,378,880	1,215,741	625,864	589,877	1.06	3,594,621	3,628,888	0.9	34,267	236,510	1,293,389	1,438,858	2,968,757	3,008,222	1.3	
南島原市	1,306,872	394,671	201,310	193,361	1.04	1,701,543	1,733,959	1.9	32,416	345,323	585,414	569,496	1,500,233	1,525,063	1.6	
五島市	143,506	269,421	159,796	109,625	1.46	412,927	400,282	3.2	12,645	41,815	73,352	137,964	253,131	246,029	2.9	
新上五島町	80,945	192,600	119,637	72,963	1.64	273,545	242,078	13.0	31,467	34,080	47,811	72,017	153,908	136,018	13.2	
小値賀町	5,435	40,706	23,903	16,803	1.42	46,141	42,857	7.7	3,284	1,835	8,161	12,242	22,238	21,685	2.6	
壱岐市	83,647	477,664	320,019	157,645	2.03	561,311	535,602	4.8	25,709	27,089	13,704	200,499	241,292	237,273	1.7	
対馬市	313,471	779,397	509,503	269,894	1.89	1,092,866	1,009,661	8.2	83,207	45,817	48,859	488,689	583,365	528,152	10.5	

「26年延数」、「26年実数」の数値は、島原市、諫早市再算定後の数値である。